

防火安全自己点検票

年 月 日

点検実施者
氏名

下記のとおり、露店等の開設に伴い消火器の設置及び対象火気器具等防火安全の自己点検を行いました。

記

点 檢 内 容	チェック欄
1 コンロ・グリドル・ストーブなどを使用中に火災が発生したが、消火器がない、又はどこに消火器が置いてあるのかわからずに、迅速な初期消火ができず、露店等が全焼し、来場者が死傷するかもしれない。	
腐食又は破損等の無い、適正な消火器を準備した。	<input type="checkbox"/>
準備した消火器がどこに置いてあるのか、露店等の関係者全員で確認した。	<input type="checkbox"/>
露店等の関係者全員で、消火器の使用方法を確認した。	<input type="checkbox"/>
2 ガスボンベのゴムホースの締め付け不足やホースのひび割れがあり、そこからガスが漏れ出し、引火又は爆発するかもしれない。	
ホースの長さは概ね 2m 以内とし、接続部分をホースバンド等で締め付けた。	<input type="checkbox"/>
使用前に、ゴムホースにひび割れ等の劣化がないか点検した。	<input type="checkbox"/>
ホースの継ぎ足し、三方継手により二又分岐はしていない。	<input type="checkbox"/>
3 業務中に人が LP ガスボンベにぶつかる、又は強風や地震によりボンベが転倒し、来場者が怪我をしたり、ガスが漏れ出すことにより引火又は爆発するかもしれない。	
ボンベは、直射日光の当たらない通気性の良い場所に設置し、転倒しないよう鎖等で固定した。	<input type="checkbox"/>
防風板は不燃材料のものを使用し、接続部分はガムテープではなく、不燃性のアルミテープ等で固定した。	<input type="checkbox"/>
4 調理中に火のついた物や炭火がコンロや火鉢の下に落ちる、又は炭の残り火が他の物に引火して、火災が発生するかもしれない。	
コンロや火鉢の下には、不燃材料のものを敷いた。	<input type="checkbox"/>
炭の残り火は、水をかけるなど完全に消火し、紙くず等と区別して処理する。	<input type="checkbox"/>
5 たばこの吸い殻を他のごみと同じごみ箱に処分する、又は溜まった灰皿に消したつもりの吸い殻を入れたことにより、火災が発生するかもしれない。	
灰皿には水を入れ、吸い殻は他のごみと分別し、ふたの付いた不燃性の容器に入れる。	<input type="checkbox"/>

6	業務中に、整理整頓されていないところやごみ集積場所に放火されるかもしれない。	
	露店等の周囲は、整理整頓しておく。 ごみは、指定された時間に指定された場所へ出し、放火をされないようにする。	<input type="checkbox"/>
7	火災発生時、頭の中が真っ白になり、初期消火や119番通報、適切な来場者の避難誘導ができないかもしれない。	
	火災発生時に通報、連絡する先(消防・催しの主催者等)を確認した。 火災発生時の来場者の避難誘導要領を確認した。	<input type="checkbox"/>
8	使用するガソリンを日の当たる場所に置いていたため、緩んでいた元栓よりガソリンの可燃性ガスが漏えいし、静電気等の火種により、着火して火災になるかもしれない。	
	ガソリンは専用(消防法令に適合した容器)の鉄製容器に入れ元栓を確実にしめて、日陰で風通しの良い水平な場所に置いた。	<input type="checkbox"/>
9	揚げかすの温度を十分に下げずにごみ袋の中に多量に入れたため、揚げかすの余熱と油の酸化作用により出火し、火災になるかもしれない。	
	揚げかすは、十分に冷ましてから通気性の良い容器に捨てるなど、熱がこもりにくい方法で処理する。	<input type="checkbox"/>
10	調理中にカセットボンベが火源に近すぎた、又はカセットコンロの装着部分を調理器具が覆ったためカセットボンベが過熱され爆発して、火災が発生するかもしれない。	
	カセットコンロに適切な大きさの調理器具を準備する。 未使用的カセットボンベは直接日の当たらない場所で保管した。	<input type="checkbox"/>
11	2日以上連續して露店等が開設されるため、夜間等無人になり、放火されるかもしれない。	
	夜間等無人になるときは、ボンベその他燃料を設置したままにしない。 可燃物及びごみ等は放火防止のため持ち帰るようにする。	<input type="checkbox"/>